

会 議 記 録			
会議の名称	予算特別委員会（全体会）		会議場所 全員協議会室 担当職員 加藤 太郎
日 時	令和6年3月14日（木曜日）		開 議 午前10時00分 閉 議 午前10時11分
出席委員	◎小川 ○山木 小林（総務文教分科会◎）大石（環境市民厚生分科会◎）林（産業建設分科会◎） 竹内 大西 法貴 土岐 片山 富谷 大塚 浅田 原野 松山 三上 山本 平本 齊藤 梅本 木村 福井 西口 <菱田議長>		
執行機関 出席者	桂川市長、石野副市長、佐々木副市長、田中病院事業管理者、神先教育長、 垣見市長公室長、田中政策企画部長、山本総務部長		
事務局 出席者	井上事務局長、数井次長、野澤副課長兼総務係長、加藤副課長兼議事調査係長、 小野主任、駒田主査		
傍 聴	可	市民1名	報道関係者0名 議員0名（-）

## 会 議 の 概 要

10:00

### 1 開議

- ・委員長あいさつ
- ・議長あいさつ
- ・日程説明

#### <小川委員長>

当初予算の審査にあたっては、市民福祉の増進に直接つながる最重要かつ膨大な議案である中で、限られた日程での審査となるが、二元代表制の役割を果たすべく慎重かつ円滑な審査を行い、しっかりと議論を尽くしていくので、審査の進行に協力願う。

#### <菱田議長>

3月6日に予算特別委員会が設置され、本日から実質6日間の日程で令和6年度各会計予算を審査いただく。桂川市長は、目指す都市像「人と時代に選ばれるリーディングシティ亀岡」の実現に向けて、第5次亀岡市総合計画の着実な推進、健全な行財政運営の推進、子どもファースト事業の推進を基本方針として予算編成されたものである。過去最大の予算となっており、各委員には分科会に分かれて審査いただくが、事業予算が市民目線に立って組まれているか、市民ニーズに合っているか、そして何よりも市民福祉の増進に向かって着実に進められるものであるかの視点で審査いただき、結果を出していただきたいと思う。最重要議案の一つである当初予算議案を限られた日程の中で集中審査いただくが、十分な質疑を行い論点を明確にした上で、しっかりと議論を尽くしていただきたいと考えている。3月議会最終日の3月27日には、亀岡市議会として最良の意思決定ができるよう、小川委員長、山木副委員長をはじめ、委員の皆さんにはよろしく願います。

#### [事務局長 日程説明]

#### <小川委員長>

説明のとおり進めることでよいか。

## 2 予算審査

<小川委員長>

ただいまから、第1号議案から第40号議案、令和6年度各会計予算審査を行う。

[市長等 入室]

・市長あいさつ

<桂川市長>

令和6年度当初予算を審議いただくにあたり、一言御挨拶申し上げる。議員の皆様には、連日の審査でお疲れの中、引き続き審査をよろしく願います。新年度予算については、3月議会冒頭の「施政方針及び予算編成方針並びに提案理由説明」で申し上げたとおり、「亀岡新時代」における挑戦と成長を目指す中、様々な施策を積極的に展開し、誰もが住みやすいまちづくりを加速するため、第5次亀岡市総合計画に基づき、「人と時代に選ばれるリーディングシティ亀岡」の実現に向けた予算編成を行なったところである。令和6年度の重点事業としては、子どもファースト宣言に基づき、こども医療費18歳まで無償化、保育料第2子以降無償化、かめおか児童クラブの一家庭2人目以降無償化などを引き続き実施するとともに、保育士等奨学金返還支援事業や中学校給食の早期実現に向けた取組、また、育親学園の校舎建設や保津保育所の移転整備、市立幼稚園の認定こども園化事業など、ソフト面とハード面の双方において、きめ細やかな施策により、子どもたちの教育環境や子育て環境の整備を推進していく。また、安全で安心して暮らせるまちづくりとして、車中泊避難可能なCar Shelter野水の整備を進めるとともに、消防団員の処遇改善を図り、地域防災力の強化に努めていく。そして、子育て・福祉・健康のまちづくりとして、がん患者のアピアランスケア助成や若年がん患者の在宅療養支援制度を創設する。また、世界に誇れる環境先進都市として、環境プロモーションセンターを核とした、保津川エコツアーをはじめとする環境施策を展開し、ごみを出さないまちづくりを目指したサーキュラーエコノミーを推進していく。さらにオーガニックビレッジ宣言に基づき、オーガニック農業スクールの支援など有機農業の拡大に向けて取り組むとともに、全国都市緑化フェアin京都丹波開催に向けてしっかりと準備を進めていく。スポーツ、歴史・文化、観光の魅力をさらに創造することとしては、保津川における舟運事業等の安全確保や環境保全への支援、京都サンガF.C.と育むシビックプライド醸成プロジェクトの取組などを重点事業として予算案を提案しているところである。これらの財源については、多大な支援をいただいている京都・亀岡ふるさと力向上寄附金を有効に活用するなど、財源の確保も図った上で、持続可能な財政運営を考慮した予算編成としたところである。それぞれの事業や財源の詳細については、担当部課長から説明申し上げることとしている。令和6年度は、本市の優れたポテンシャルを最大限に引き出し、未来を見据え、次代へつなげるために、積極果敢に市政運営に邁進する所存である。議員の皆様には御理解と御協力をいただき、何とぞ御賛同を賜るようよろしくお願い申し上げます。

<小川委員長>

限られた日程で円滑かつ充実した審査とするため、理事者の皆さんには簡潔で適切

な説明、適確な答弁をよろしく願います。この後早速分科会審査に入り、担当部  
室の出席を求めることとする。

[市長等 退室]

10:10

### 3 その他

<小川委員長>

それでは委員会室に移動し分科会審査に入る。分科会委員長は、審査についてよろ  
しく願います。分科会の開議時刻は午前10時20分からとする。

散会 10:11